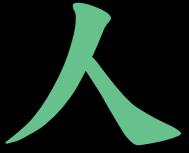


# Zoom Up



長い距離を走るのはつらいけど、  
ゴールしたときの達成感が  
クロカンの面白さですね



## 佐々木 明香さん

●ささき・あすか 松尾中3年生。女子スキー部主将、クラスでは書記を務める。今季は、県中学校スキー大会クロスカントリー女子リレー競技で松尾中を初優勝に導いたほか、個人でも入賞を果たす。松中スキー部の先輩を尊敬する。スキーのほかにはマラソンが得意。趣味は音楽鑑賞で、将来は保育士になるのが夢。「明るい性格」と自己分析。血液型A型のおうし座。両親と祖父母、姉、兄の7人家族。松尾地区在住。



ゴ

ールの瞬間、自然に右手が上がりガツツポーズが出た。最後の直線では、コース脇を第一走者の畠智佳さん(1年)、第二走者の古川優里さん(3年)が声を掛けながら並んで走る仲間の声援を背に受け、後続を振り切ってゴー

ルラインを1位で通過。それが、県中学校スキー大会クロスカントリー女子リレー競技を松尾中が初めて制した瞬間だった。「ライバルの田山中に勝ちたい」。その一心で夏場も厳しいトレーニングを重ねたという。陸上部と一緒に走りこむなどの練習を通じて、足腰を強化するとともにコースの状況に合わせて滑るために技術を養った。3年生として迎える最後の県大会本番を前に、明香さんはこれまでに

振り切ってゴー

ポーズが出た。最後の直線では、コース脇を第一走者の畠智佳さん(1年)、第二走者の古川優里さん(3年)が声を掛けながら並んで走る仲間の声援を背に受け、後続を振り切ってゴー

ルラインを1位で通過。それが、県中学校スキー大会クロスカントリー女子リレー競技を松尾中が初めて制した瞬間だった。「ライバルの田山中に勝ちたい」。その一心で夏場も厳しいトレーニングを重ねたという。陸上部と一緒に走りこむなどの練習を通じて、足腰を強化するとともにコースの状況に合わせて滑るために技術を養った。3年生として迎える最後の県大会本番を前に、明香さんはこれまでに

戦いを終えた明香さんたちの笑顔は、これからも輝き続けるに違いない。

ない勝利の予感がしたという。第一走者の智佳さんは、明香さんが1年生だった当時よりも早いタイムを出すほどの成長株で心強いことに加え、チームとしての調子も上がり始めている。「今日は勝てる」。そう確信してレースに臨んだ。

第二走者の優里さんから、仲間の声援を受け、後続を振り切ってゴー

ルラインを1位で通過。それが、県中学校スキー大会クロスカントリー女子リレー競技を松尾中が初めて制した瞬間だった。「ライバルの田山中に勝ちたい」。その一心で夏場も厳しいトレーニングを重ねたという。陸上部と一緒に走りこむなどの練習を通じて、足腰を強化するとともにコースの状況に合わせて滑るために技術を養った。3年生として迎える最後の県大会本番を前に、明香さんはこれまでに